



Polaris news

【北高新聞 NO.202414】

「異文化理解講演会」 (2024.12.05)

南山大学 スペインラテンアメリカ学科の額田有美先生にお越しいただき、「スペイン語で世界を探ろう ¡Vamos a explorar el mundo en español!」というタイトルで講演をして頂きました。裁判では「文化鑑定」がある国もあり、それは良いことでもあり、差別にもつながるというお話や、スペイン語に関するクイズなどグループワークも交えながら、スペイン語を通して世界を知ることのできる内容でした。言語だけではなく、文化的背景を知ることの大切さを教えていただきました。



■生徒の感想より■

- 裁判のお話に興味を持ちました。文化を裁判に持ち込むことは、その人を尊重する取り組みで素晴らしいことであるはずなのに、それが結果として差別を生む原因にもなると聞いて、差別はどこにでも起こってしまうこと、消えることはないことなのだと思います。
- 今回の講演会を通してスペイン語と今後どのように関わっていくかを考えました。今回の講演会を通して、スペイン語がどのような職業に使われているか知れ、今後自分がどのようにスペイン語に関わっていくかを考えるようになりました。どのような職業に就くか目標は定まっていますが、言語を使う職が通訳以外にもあると知れて良かったです。
- 外国語学部が言語習得だけでなく、その言語が話されている国の経済、文化、歴史、政治などを学ぶ地域研究もすることを知れた。そういうことも学べるとは知らなかったので、外国語学部も視野に入れようと思えるきっかけになった。フィールドワークに関しては、現地に行って、見て、調べて、終わりなのではなく、さらに帰国してからそのことをまとめ研究が続いていくことに心を動かされました。
- 文化を理解しているその国の人から“正しい文化”を教えてもらうことが必要だと感じた。中々遠くで難しいかもしれないけど、神戸市三宮にある博物館に一度足を運んでみるべきだと思った。なにか自分から行動して情報を得ることで、頭に入りやすくなると思うので、自分が出来ることをやってみようと感じた。